

## 実施計画・評価について

---



# 1 既存事業の整理

逗子市における健康づくりに関連する既存事業を挙げました。各年代にまたがる事業延実数は137事業となります。(年代別内訳は後述参照)

担当課：子育て支援課

No	事業	年代別						内容
		乳幼児期	学童期	思春期	青年期	壮年期	高齢期	
		0~6歳	7~12歳	13~19歳	20~39歳	40~64歳	65歳以上	
1	妊婦訪問			○	○	○		妊婦訪問を行い、妊娠経過や育児に向けての準備の確認、育児不安の解消を図る。
2	産婦・乳児訪問	○		○	○	○		出産後、家庭訪問を行い、産婦や乳児の健康状態や養育環境の確認、適切な育児の助言と育児不安の軽減を図る。
3	母乳・授乳相談	○		○	○	○		助産師による授乳についての相談を通して適切な授乳の助言と育児不安の解消を図る。
4	母親・両親教室			○	○	○		妊娠、出産、育児についての普及を図り、楽しく育児できるよう仲間づくりの支援を行う。
5	4か月健診	○		○	○	○		疾病の早期発見、順調な発達・発育の確認。保護者に対する知識の普及と不安の解消を図るため、集団指導、問診、計測、診察、個別相談を行う。
6	お誕生日前健診	○		○	○	○		疾病の早期発見、順調な発達・発育の確認。保護者に対する知識の普及と不安の解消を図るため、集団指導、問診、計測、診察、個別相談を行う。
7	1歳6か月児健診	○		○	○	○		乳幼児の親等に対して知識の普及と不安の解消を図り、また、障害や疾病の早期発見のため定期的に健診を実施。
8	2歳児すくすく教室	○		○	○	○		歯科衛生士による歯科相談を実施。保健師は育児相談の対応と児の発育発達の確認を行い、必要な児には管理栄養士による栄養相談を行う。
9	3歳児健診	○		○	○	○		保護者等に対して知識の普及と不安の解消を図り、また、障害や疾病の早期発見のため定期的に健診を実施。尿検査、視聴覚検査も実施。
10	経過検診	○		○	○	○		各種乳幼児健康診査、育児相談及び保健師等による家庭訪問等の結果、事後措置が必要と認められる乳幼児に対し検診を実施。
11	子ども元気相談	○		○	○	○		子どもの発達についての相談と保護者の関わり方の支援
12	健診フォローグループ	○		○	○	○		発達にフォローが必要な児やその親を対象に、親子遊びを通して、児の発達の促し、保護者と児の関わり方の支援、保護者の育児不安の軽減を行う。
13	離乳食教室	○		○	○	○		離乳食の意義、作り方などを指導。正しい食習慣を伝え、離乳食に対する保護者の不安の解消を図る。
14	小児生活習慣病予防健診		○	○	○	○		健康的な生活習慣を身につけることを目的に小学校4年生を対象に健診を実施。

担当課：国保健康課

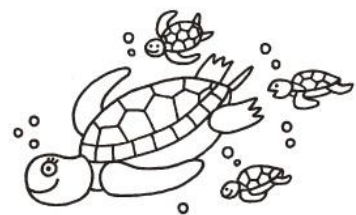
No	事業	年代別						内容
		乳幼児期	学童期	思春期	青年期	壮年期	高齢期	
15	特定健診・特定保健指導					○	○	生活習慣病の早期発見・予防を目的とした健診。健診後必要に応じ保健指導等を実施
16	高齢者健診						○	
17	がん検診事業				○	○	○	主に40歳以上の市民に対してのがん検診。(子宮頸がんのみ20歳以上)早期発見・早期治療を目指す
18	健康づくり教室				○	○	○	メタボリックシンドローム改善を促す参加型教室、ロコモティブシンドローム予防教室、女性の健康教室等、様々なテーマで開催
19	健康・栄養相談		○	○	○	○	○	生活習慣の見直しや健康診断の結果の見方についての保健師と管理栄養士による個別相談
20	禁煙対策事業				○	○	○	市制60周年事業として講演会を喫煙者向け、がん予防としてがん講演会時に、子ども対象に計3回実施。喫煙者には呼気一酸化炭素濃度測定を実施
21	健康サポート出前講座				○	○	○	知識の復普及、生活習慣改善を図るため、保健師・管理栄養士が市民の活動場所へ出向く講座。(お出かけ円卓フォーラム該当事業)
22	血管年齢測定イベント				○	○	○	血管年齢測定を通して生活習慣について見直す機会とする
23	健康フェスティバル	○	○	○	○	○	○	がんの啓発および予防を目的とした啓発イベント
24	体力測定会				○	○	○	逗子アリーナでの体力測定時に、体力測定前に血圧測定を実施し、全体に健康づくりについての講話・実技等を実施
25	栄養改善教室		○	○	○	○	○	生活習慣病等の予防を目的に、年度3回実施
26	食事なんでも相談					○	○	管理栄養士による集団健診会場における食事相談
27	男性の健康料理教室						○	介護予防を目的とした市内在住の料理経験のない65歳以上の男性を対象とした料理教室
28	ヘルスマイト養成講座				○	○	○	家庭や地域で食生活改善活動を実践するヘルスマイト(食生活改善推進員)を養成する講座
29	歯周疾患検診					○	○	40歳、50歳、60歳、70歳を対象にした歯周疾患検診
30	お口の健康展	○	○	○	○	○	○	歯周疾患の予防、食育の普及啓発、禁煙を目的としたパネル展示、個別相談等の啓発イベント
31	食育推進計画推進事業	○	○	○	○	○	○	食に関する教育・啓発を通じて「食を営む力を育てる」とともに、それを支援する環境づくりをすすめる事業
32	地域医療充実事業	○	○	○	○	○	○	住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるよう、医療や介護の連携、充実を図る事業

担当課：介護保険課

No	事業	年代別						内容
		乳幼児期	学童期	思春期	青年期	壮年期	高齢期	
33	介護予防事業						○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者向け運動教室</li> <li>・二次予防事業（運動・口腔栄養）</li> <li>・介護予防普及啓発（講師等派遣）</li> <li>・地域介護予防活動支援</li> <li>・認知症予防に関する講演会</li> </ul>
34	高齢者センター教養講座						○	初心者英会話、パソコン-プリント、初心者デジカメ撮り方、寺子屋、歴史、自然再発見
35	高齢者センターふれあいまつり	○			○	○	○	高齢者センターの周知のため、芸能大会、ゲーム、屋台等をして、3世代交流をはかる。
36	シニア健康教室						○	高齢者を対象に健康講座や健康体操、音楽鑑賞などを行う

担当課：障がい福祉課

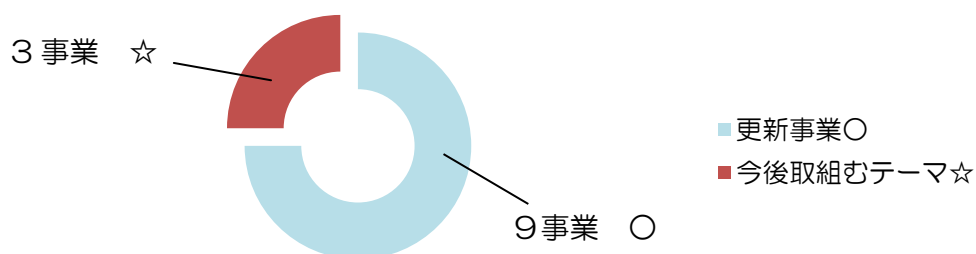
No	事業	年代別						内容
		乳幼児期	学童期	思春期	青年期	壮年期	高齢期	
37	自殺対策強化啓発事業		○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館に啓発コーナーを設け、図書で紹介と啓発リーフレットを配布。合わせて自殺予防対策について掲示。</li> <li>・公用車に啓発マグネットを貼付</li> <li>・自殺対策講演会の実施</li> <li>・懸垂幕の掲示・広報紙に記事掲載</li> </ul>
38	人材養成事業		○	○	○	○	○	市民・職員等を対象にゲートキーパー研修（こころの健康についてを含む）を開催
		年代別						
		乳幼児期	学童期	思春期	青年期	壮年期	高齢期	
合計		14	7	20	29	32	23	総計 125



## 2 今後取り組むテーマの概要

今回の計画部会で出た事業案は、次項の 12 項目です。そのうち9事業は既存事業を更新していくことで対応可能なため、既存事業に組み込んでいきます。(○マーク)残りの3項目は、新たな事業として今後取り組むテーマとして位置づけ計画していきます。(☆マーク)

多くのライフステージにまたがる事業を構築し、より家族ぐるみ、地域ぐるみで取り組むことができる、波及効果の高い事業づくりに取り組んでいきます。



基本理念の3本柱、①市民が主体の健康づくり、②地域で進める健康づくり、③関係機関と団体との連携強化、しっかりと取り組んでいきます！



※ 新たな事業として今後取り組むテーマとして位置づける3つの計画については、85～87ページをご覧ください。

## 12の事業案

No.	事業名	事業の概要	実施主体	主な対象	更新事業 ☆	今後 取り組むテーマ ★
1	いつ?何?予防接種! ～予防接種の順番リスト～	乳幼児は予防接種の種類が多く、受ける順番が分かりにくい為、予防接種をより分かりやすく、受けやすくするツールを増やす。 ・メールアドレス登録者へメール送付 ・乳幼児健診時の指導 ・母子健康手帳配付時の案内・指導 ・ホームページへの掲載 ・医療マップへの掲載	市	乳幼児期 (予防接種対象年齢の市民)	☆	
2	親子参加型料理教室 ～ばあば・じいじの知っ得レシピ～	離乳食開始後の不安、幼児食などについて学べる料理教室。偏食、食べず嫌い、お菓子の選び方など	地域	乳幼児期	☆	
3	医療機関マップの改善	既存の医療機関マップの情報の充実化 (地域別、世代別の情報の追加等)	市	全市民	☆	
4	楽しくできるラジオ体操 ～Kids サポ・Ad サポ～	対象者等に対し、ラジオ体操を通じ運動する機会を作り、運動習慣をつくる。そのために、子ども・大人のサポーターを育成していく。	市民	学童期		★
5	公園再整備時には New 健康遊具設置	健康づくりのための遊具などを公園に設置	市	高齢期		★
6	地域限定!健康づくりルートマップ	公園の特徴を伝え公園で楽しめる場所をつくる	地域	全市民	☆	
7	8020運動で若いうちからオーラルケアを!	成人式での啓発、リーフレット、チェックリストの作成、健康歯コンテスト、お口の健康展の参加者UP	市	学童期・思春期	☆	

No.	事業名	事業の概要	実施主体	主な対象	更新事業☆	今後取り組むテーマ★
8	広報に健康情報コーナーを！	広報の分かりやすい定例の場所に健康情報コーナーをつくり、季節の健康情報などを載せる	市	全市民	☆	
9	妊娠～パパママ 100%禁煙運動(両親学級での禁煙促進)	両親学級でタバコの害を伝え、禁煙希望者には禁煙サポートを個別に開始する	市	青年期・壮年期・高齢期(妊娠中の方と家族)	☆	
10	広報をより見たい広報に！(情報伝達の改善)	高齢者や子ども向けなど記事の対象ごとにマークをつけ字を大きくする	市	全市民	☆	
11	健診受診率 UP 作戦	医師会・歯科医師会と連携し、通院者の健診受診の確認や、未受診者への受診勧奨を促す	地域	青年期・壮年期・高齢期(健診対象者)		★
12	ボラ・趣味しながら若返り！(日常習慣の改善)	ボラ協・趣味サークル等の開催日に健康出前講座をする	市民	高齢期	☆	

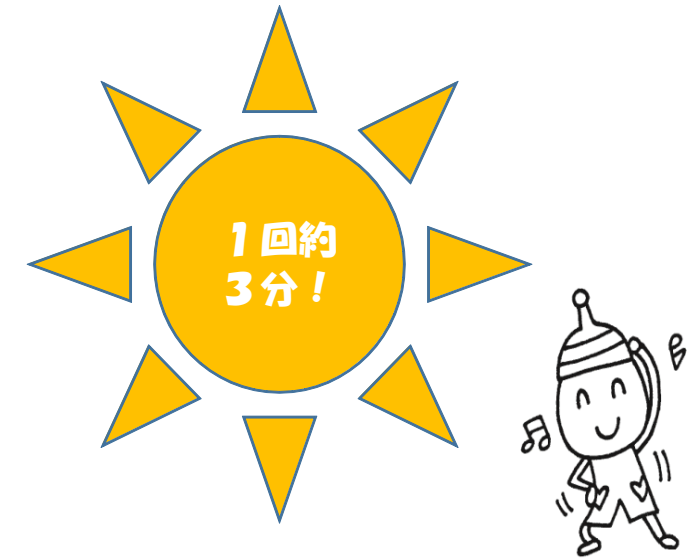




# 今後取り組むテーマ★ No.1 楽しく出来るラジオ体操～キッズサポ・大人サポ～

ライフステージ				目的	対象者	手段	方法	担当部署	関連部署等	方法・実施時期・期間							
乳幼児期	学童期 思春期	青壮年期	高齢期							27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	○	○	○	<p>運動習慣を子どもの頃から身につけ、体力向上、肥満予防、生活習慣病予防に努めるとともに、日頃から運動することでのストレス解消などにつながることを知る。</p> <p>また、高齢者においては運動習慣を身につけることでロコモティブシンドローム予防、認知症予防とすることを旨とする。</p>	小中高生と家族	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーフレットによる周知</li> <li>市内の定例で行うラジオ体操実施個所を増設。</li> <li>キッズサポ・大人サポ養成のため、サポーター養成講座を開催</li> <li>学童保育、スマイル来所者、福祉作業所などでの実施(グループに対するアプローチ)</li> <li>※ラジオ体操を手段に選んだのは、特にツールがなくとも、無料で、どこでも実施できる運動手段であり、また、世代間を超えた認知度があることから、家族で実施しやすいなど、運動仲間を作りやすく、習慣化しやすいと考えるため。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①関連部署等との調整</li> <li>②市内の定例で行っているラジオ体操実施場所、内容等をチラシで周知</li> <li>③ラジオ体操の実施場所を増す。</li> <li>④サポーター養成講座を開催し、子ども、大人のサポーターを養成し、サポーターが周囲の人(家族、友人など)にラジオ体操を実施</li> <li>⑤サポーターのうちから活動数が多く拡散効果の高い者をキッズサポリーダー、大人サポリーダーとし、今後の活動内容、場所を市とともに計画</li> <li>⑥サポーターはリーダーの指示により、学童保育、スマイル来所者、福祉作業所などにもでむぎ、活動を実施</li> <li>⑦健康係健康事業でのラジオ体操の実施(アイスブレイク、休憩時間等)</li> <li>⑨指導者資格取得への支援</li> <li>⑩関係者会議、サポーターミーティング、活動報告会を開催し今後の活動に反映</li> </ol>	国保健康課	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化スポーツ課</li> <li>介護保険課</li> <li>神奈川県鎌倉保健福祉事務所</li> <li>逗子体育協会</li> <li>ZIA(逗子インタラクティブアソシエーション)</li> <li>商工会</li> <li>ZUSIP(逗子老人クラブ連合会)</li> <li>(株)逗子スポーツ</li> <li>愛好団体</li> <li>自治会</li> </ul>	<p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>⑤</p> <p>⑥</p> <p>⑦</p> <p>⑧</p> <p>⑨</p>							

期待効果	概算費用、予算	関連既存事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>運動習慣の定着化</li> <li>体力向上</li> <li>肥満予防</li> <li>生活習慣病予防</li> <li>ストレス解消法の獲得</li> <li>障がい児者の、肥満予防、生活習慣病予防</li> <li>高齢者のロコモティブシンドローム予防、認知症予防、運動仲間づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サポーター養成講座講師料10,000円</li> <li>通知文等の郵送費</li> <li>リーフレット</li> <li>プログラム作成料</li> <li>ラジオ体操実施記入シート紙代</li> <li>交通費</li> </ul> <p>総計40,000円程度</p>	<p>特定保健指導、商工会での出前講座(鎌倉保健福祉事務所と共催)</p>



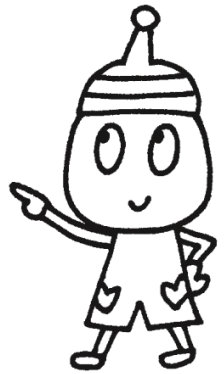
今後取り組むテーマ★ No.2 公園再整備時にはNew健康遊具設置

ライフステージ				目的	対象者	手段	方法	担当部署	関連部署等	方法・実施時期・期間								
乳幼児期	学童期 思春期	青壮年期	高齢期							27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	
	○	○	○	子どもから高齢期までの世代が気軽に（身近で、無料で、曜日や時間帯も問わず）健康づくりのための運動ができる場所を確保することにより、市民の健康づくりの活発化を目指す。	子どもから高齢者	健康づくりに資する遊具などの設置	①緑政課に地域の公園再整備計画を確認 ②①に合わせて健康づくりに資する遊具等の設置を提案 ③地域との話し合いを実施 ④健康づくりに資する遊具等を選定 ⑤設置 ⑥広報・HP、地域の自治会の回覧板、民生委員・主任児童委員の会議において周知 ⑦⑥の際、同時に利用後の意見を一定期間募集 ⑧⑦を次回の健康遊具設置の際の①～④に反映	国保健康課	・緑政課 ・地域住民	①								

再整備計画に合わせ  
②・③・④計画前年度  
①・⑤・⑥計画年度 →⑦・⑧

期待効果	概算費用、予算	関連既存事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>運動習慣の定着化</li> <li>体力向上</li> <li>肥満予防</li> <li>生活習慣病予防</li> <li>ストレス解消法の獲得</li> <li>肥満予防、生活習慣病予防</li> <li>高齢者のロコモティブシンドローム予防、認知症予防、運動仲間づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通知文等の郵送費5,000円程度</li> <li>健康遊具設置費用（公園×7か所分）約3,500,000円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一運動公園整備事業</li> <li>街区公園整備事業</li> </ul>

**「健康遊具」とは**  
日常生活での健康づくりを主な利用目的とした大人も使える遊具のことです。  
散歩の途中でストレッチ、筋トレなど。



今後取り組むテーマ★ No3 特定健診受診率UP作戦

ライフステージ				目的	対象者	手段	方法	担当部署	関連部署等	方法・実施時期・期間																				
乳幼児期	学童期 思春期	青壮年期	高齢期							27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度													
		○	○	<p>健診受診率を向上させ、生活習慣病の早期発見・早期治療につなげる。受診率の上昇により内服開始等受診につながる者が増え、一時的に全体として医療費は増加するが、長期的には重症化予防につながり、医療費や介護保険料が削減される。</p> <p>また、本人や家族のQOL(クオリティオブライフ：生活の質)の向上も期待できる。</p>	成人(健診・検診対象者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ等での情報提供</li> <li>・関係機関(医師会・歯科医師会・薬剤師会、逗葉地域医療センター)への協力依頼</li> </ul>	<p>①目標設定検討 ※②～⑦の効果予想を検討し、実施の優先度、効果測定方法を決定する。</p> <p>②関連部署等との調整</p> <p>③健康係その他の健康事業を実施した際、参加者に健診(検診)受診の状況を確認、未受診の場合勧奨 ※ポスターの掲示、チラシ配布程度でも可能。できる範囲での実施</p> <p>④広報等での周知(KDBシステムを用い、平成20年度以降の特定健診受診者群・未受診者群に分けた追跡調査を市民に公表、がん検診については、既存の検診受診の有無によるステージの差異を周知)</p> <p>⑤医師会・歯科医師会・薬剤師会、逗葉地域医療センターへの協力依頼</p> <p>⑥⑤がそれぞれの機関利用者に対して、健診(検診)受診の状況を確認・未受診の場合勧奨 ※ポスターの掲示、チラシ配布程度でも可能。できる範囲での実施を依頼</p> <p>⑦逗葉地域医療センターに委託実施している集団健診の受診者数を増やす具体案を作成(実施会場の増加、時間帯の変更等)</p> <p>⑧年度始めに行う関係者会議にて前年度の受診率、効果等の確認。修正計画を立て、引き続き実施</p>	国保健康課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・逗葉医師会</li> <li>・逗葉歯科医師会</li> <li>・逗葉薬剤師会</li> <li>・逗葉地域医療センター</li> </ul>	<p>①②③</p> <p>④⑤</p> <p>⑥⑦</p> <p>⑧</p>	年度別 受診率達成目標																			
				<p>逗子市の特定健診受診率は約30%(約3,500人)で推移してきたが、平成34年度までに受診率40%を目標とする。</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>30年度</td> <td>31年度</td> <td>32年度</td> <td>33年度</td> <td>34年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>31%</td> <td>32%</td> <td>34%</td> <td>36%</td> <td>37%</td> <td>38%</td> <td>39%</td> <td>40%</td> </tr> </table>									27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度		31%	32%	34%	36%	37%	38%	39%	40%
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度																						
	31%	32%	34%	36%	37%	38%	39%	40%																						
				<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>H26年度現在</td> <td>H34年度目標</td> </tr> <tr> <td>個別健診受診者数</td> <td>約2,500人</td> <td>→ 3,500人</td> </tr> <tr> <td>集団検診受診者数</td> <td>約1,000人</td> <td>→ 1,200人</td> </tr> </table>		H26年度現在	H34年度目標	個別健診受診者数	約2,500人	→ 3,500人	集団検診受診者数	約1,000人	→ 1,200人																	
	H26年度現在	H34年度目標																												
個別健診受診者数	約2,500人	→ 3,500人																												
集団検診受診者数	約1,000人	→ 1,200人																												

期待効果	概算費用、予算	関連既存事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期的な医療費や介護保険料の削減</li> <li>・本人や家族のQOL(クオリティオブライフ：生活の質)の上昇</li> </ul>	<p>紙代 20,000円</p> <p>通信費 20,000円</p>	特定健診・各種がん検診等

個人診療で受けた場合の金額	個人負担金
特定健診 約11,000円	→ 1,500円



市の健診は、費用の一部を市が負担し、少ない自己負担で受診できるようになっています。ぜひご利用ください!



### 3 計画の進行管理について

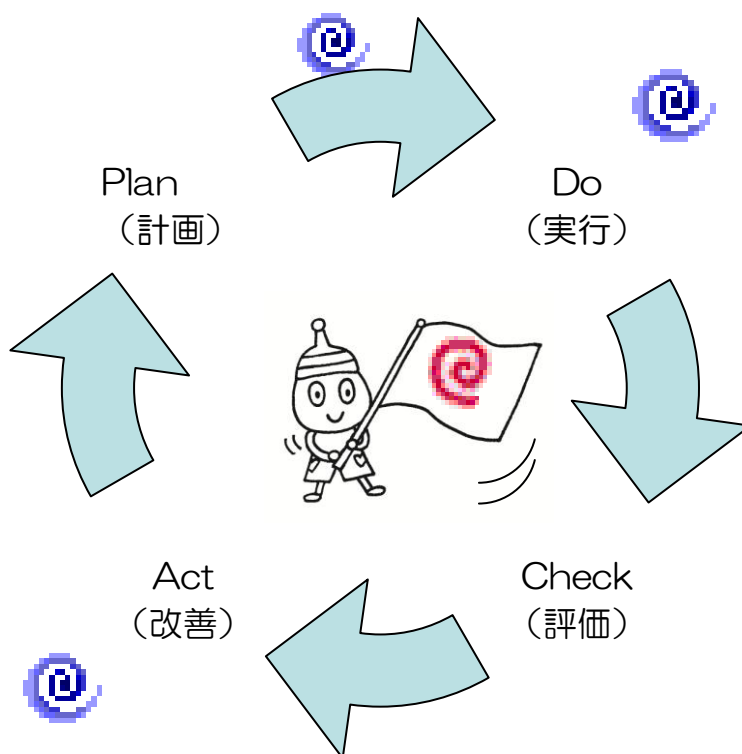
計画期間中は、PDCA サイクルにより事業の進行管理を行いながら、総合計画や福祉プランの見直しに併せ、必要に応じて計画を見直し、計画の実行性を高めます。

この計画に位置付け実施する事業については、毎年度の実施状況を進行管理していきます。事業実施担当者は、毎回の事業ごとにPDCA サイクルを繰り返す（小さいサイクル）、全体としては、年1回の評価で改善事項を翌年の計画に反映していきます（大きいサイクル）。

#### PDCA サイクル

ピーディーシーエーサイクル：PDCA cycle、plan-do-check-act cycle)

事業活動における生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進める手法の一つです。Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善していきます。



## 計画の進行管理方法

進行管理対象事業：総合計画におけるリーディング事業、福祉プランの各個別計画の目標と方針における健康増進計画に位置づけられている事業、今後取り組むテーマに位置づけた事業

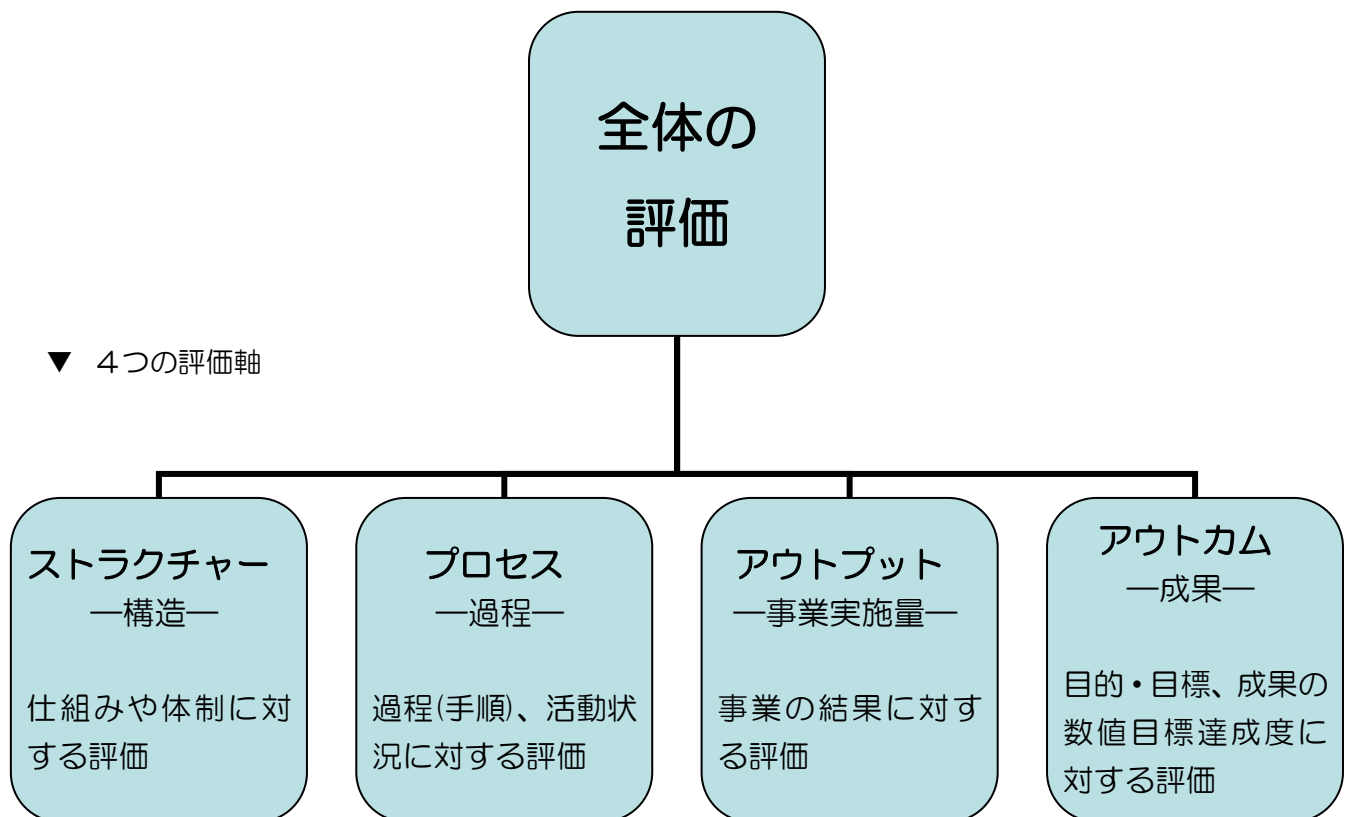
進行管理手法：健康増進計画推進懇話会による意見交換を経て市で決定

活用時期：事業企画時より実施後（報告）までとし、次回の事業企画時にその内容を反映させるもの、今後取り組むテーマに位置づけた事業

評価時期：事業実施報告とともに実施

評価者：事業実施担当者

評価軸：4つの評価軸に沿って評価実施



総合計画におけるリーディング事業及び福祉プランの各  
個別計画の目標と方針における健康増進計画に位置づけら  
れている事業

【1】 ★リーディング事業  
『健康づくり推進事業』

課題	健康と長寿を確保しつつ、医療費の伸びの抑制に資するため、行政のみならず市民が主体の健康づくり活動や地域で進める健康づくりを推進することにより、糖尿病等の生活習慣病の発症と重症化の抑止を図る必要があります。	
取り組み	健康増進計画に基づく年代別健康づくり事業の実施や、生活習慣病等の予防の啓発等を行います。また、併せて特定健診や各種がん検診を実施するとともに、保健師及び管理栄養士の保健指導を推進します。	
目標【2022年度（平成34年度）】	健康増進計画が推進され、国民健康保険被保険者一人当たりの医療費の抑制が図られている。	現状【2012年度（平成24年度）末】 国民健康保険被保険者一人当たり医療費 311,144 円

## 【2】 ★リーディング事業

### 『地域医療充実事業』

課題	<p>団塊の世代を中心とした 65 歳以上の高齢者数は、2025（平成 37）年には 3,657 万人となり、このうち 60 パーセント以上の国民が自宅で療養したいと回答していることから、医療と介護のネットワークとして、在宅医療連携拠点の整備が必要となっています。</p> <p>また、救命救急体制の充実や災害時の医療提供機能の拡充など、地域医療のさまざまな観点からも、近隣病院との連携の推進が必要となっています。</p>	
取り組み	<p>逗子・葉山地区医療保健福祉対策協議会において、医師会、歯科医師会、薬剤師会、その他関係機関とともに協議、連携しながら在宅医療連携拠点を整備していきます。また、近隣病院に対して市に必要な連携を要望していきます。</p>	
目標【2022 年度（平成 34 年度）】	在宅医療の連携拠点の設置が完了し、機能している。	現状【2013 年度（平成 25 年度）末】
		設置されていない。

## 【3】 『特定健診・特定保健指導事業』

課題	<p>生活習慣病の前段階であるメタボリックシンドロームの対象者や予備軍となる人を早期に選定し、内臓脂肪型肥満を解消するための生活習慣改善の支援を行い、糖尿病等の生活習慣病の発症と重症化の抑止を図る必要があります。</p>	
取り組み	<p>満 40 歳から 74 歳の本市国民健康保険被保険者を対象に、個別健診及び集団健診により、特定健診を実施し、その結果に基づき保健師・管理栄養士が保健指導を実施します。</p>	
目標【2022 年度（平成 34 年度）】	特定健診の受診率が 40 パーセントになっている。	現状【2013 年度（平成 25 年度）末】
		30.7 パーセント



#### 【4】 『成人等保健事業』

課題	壮年期からの健康づくりと生活習慣病（脳卒中、心臓病、がん等）の予防、早期発見及び早期治療を図る必要があります。
取り組み	胃がんや女性特有のがんをはじめとする各種がん検診や、歯周疾患検診を実施するとともに、健康増進や疾病予防のための正しい知識の普及を図ることを目的に、健康教育・健康相談を実施します。 また、高齢者インフルエンザの予防接種を実施し、高齢者の疾病の重症化を防止します。
目標【2022年度（平成34年度）】	現状【2013年度（平成25年度）末】
胃がん検診及び肺がん検診の受診率が20パーセントになっている。	胃がん検診の受診率7.9パーセント、肺がん検診の受診率12.2パーセント

#### 【5】 『地域医療充実事業』（総合的病院の誘致）

課題	救命救急体制の充実や災害時の医療提供機能の拡充など、地域医療のさまざまな観点から、総合的病院を誘致する必要があります。
取り組み	総合的病院の誘致に必要な病床数を確保するため、県に対して要望を行います。
目標【2022年度（平成34年度）】	現状【2013年度（平成25年度）末】
総合的病院が開設されている。	開設されていない。

